

# 令和6年度 シラバス

教科名	家庭	科目名	家庭基礎 (1年次)	単位数	2
授業形態	講義及び実習				
選んでほしい生徒	1年次生全員 (必履修)				
科目の目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身に付ける。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解と、それに係る技能。</li> <li>2 生涯を見通して課題を解決する力。</li> <li>3 様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度。</li> </ol>				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校家庭クラブ活動</li> <li>2 これからの生き方と家族</li> <li>3 衣生活をつくる</li> <li>4 住生活をつくる</li> <li>5 ホームプロジェクト</li> </ol> <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6 食生活をつくる</li> <li>7 経済生活をつくる</li> </ol> <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>8 次世代をはぐくむ</li> <li>9 充実した生涯へ</li> <li>10 ともに生きる</li> </ol>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などに関わる基礎的理解とそれに係る技能について、講義や実践的・体験的な学習を通して学ぶ。</li> <li>・ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動の実践により、主体的に家庭生活と地域の生活を改善充実しようとする態度を身に付ける。</li> </ul>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</li> </ul>		
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業や実習への取組、家庭科ノート、調理実習ノート、課題、提出物等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を大切にする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かに聞き、授業に集中する。実践的・体験的な学習活動に積極的に取り組む。</li> <li>・プリントにしっかり記入し、指定されたページに貼る。</li> <li>・忘れ物をしない。</li> <li>・提出物は必ず期限を守る。</li> </ul> </li> <li>2 学習した内容を、家庭で実践してみる。</li> </ol>				
教材費	副教材費 約550円 実習費 1,300円				
その他	特になし				

# 令和6年度 シラバス

教科名	家庭	科目名	保育基礎	単位数	4
授業形態	講義及び実習				
選んでほしい生徒	子供の発達・保育に興味があり、保育に関する専門的な学習をしたり、保育検定に取り組んだりすることにより、実践的に学びたいと考えている人。				
科目の目標	保育の意義や方法、子供の発達と生活の特徴、子供の福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付けるとともに、子供一人一人の発達に適した保育環境を整えることの重要性について思考を深め、地域の保育や子育て支援に寄与できる資質・能力を育成する。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについての体系的・系統的な理解と、関連する技術。</li> <li>2 子供を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力。</li> <li>3 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度。</li> </ol>				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<b>【1学期】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子供の保育</li> <li>2 子供の生活</li> </ol> ※ 保育技術検定4級  <b>【2学期】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 子供の生活と養護</li> <li>4 子供の文化</li> </ol> ※ 保育技術検定3級  <b>【3学期】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 子供の福祉</li> </ol>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の必要性や意義、方法について学ぶ。</li> <li>・子供の発達の特性や過程、基礎的な保育の技術について学ぶ。</li> <li>・子供の生活と養護、健康的な生活を支える保育技術について学ぶ。</li> <li>・子供の文化、遊びと表現活動について学ぶ。</li> <li>・子供の福祉の理念や制度、施設などについて学ぶ。</li> </ul>		
評価の観点・評価方法	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>		
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業や実習への取組、実習作品、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 普段から新聞・テレビ・本などをチェックし、子供を取り巻く環境についての事例に関心を持つようにしよう。</li> <li>2 子育て支援関連施設における活動に参加するなど、子供と触れ合う機会を持ち、子育て支援の視点を持つようにしよう。</li> </ol>				
教材費	実習費 3,000円				
その他	保育技術検定4級、3級（3種目）の合格を目指します。				

# 令和6年度 シラバス

教科名	家庭	科目名	保育実践	単位数	2
授業形態	講義及び実習				
選んでほしい生徒	子供の発達・保育に興味があり、保育に関する専門的な学習をしたり、保育検定に取り組んだりすることにより、実践的に学びたいと考えている人。				
科目の目標	子供の表現活動や子育て支援について理解し、関連する技術を身に付けるとともに、子供を取り巻く環境の変化に対応した保育の重要性について思考を深め、地域の保育や子育て支援に寄与できる資質・能力を育成する。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 子供の表現活動や子育て支援について体系的・系統的な理解と、関連する技術。</li> <li>2 子供を取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力。</li> <li>3 保育の充実を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度。</li> </ol>				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子供の表現活動と保育</li> </ol> <p>※ 保育技術検定2級</p> <p>【2・3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2 子育て支援と保育</li> <li>3 保育の活動計画と実習</li> </ol> <p>※ 保育技術検定1級</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の重要性をさらに深く理解し、子供の発達を促す技術を学ぶ。</li> <li>・子供の健やかな発達を促すための保育について学ぶ。</li> <li>・技術の習得に当たっては、全国高等学校家庭科保育技術検定を活用して学ぶ。</li> <li>・子育て支援の意義と役割について理解し、保育の場で行う保護者支援の基本を学ぶ。</li> <li>・保育の活動計画と実習について学ぶ。</li> </ul>		
評価の観点・評価方法	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の発達を促す表現活動と、子育て支援に関する内容を取り上げ、保育を担う職業人としての専門的な知識と技術を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の育ちや子育て支援に関して、思考を深め、課題を発見する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>		
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業や実習への取組、実習作品、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 普段から新聞・テレビ・本などをチェックし、子供を取り巻く環境についての事例に関心を持つようにしよう。</li> <li>2 子育て支援関連施設における活動に参加するなど、子供と触れ合う機会を持ち、子育て支援の視点を持つようにしよう。</li> </ol>				
教材費	実習費 5,000円				
その他	保育技術検定2級、1級（2種目以上）の合格を目指します。				

# 令和6年度 シラバス

教科名	家庭	科目名	ファッション造形基礎（2年次）	単位数	4
授業形態	被服製作実習及び講義				
選んでほしい生徒	服飾関係への進学・就職を考えている人や、被服製作に関して興味・関心があり、知識や技術を身に付けたいと思っている人など。				
科目の目標	被服の構成、被服材料の選択、洋服や和服の製作に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ファッションを造形するための資質・能力を育成する。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについての体系的・系統的な理解と、関連する技術。</li> <li>2 被服製作やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力。</li> <li>3 衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度。</li> </ol>				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 被服の構成</li> <li>2 被服材料 (実習1) 手縫いの基礎</li> <li>3 洋服の製作 (実習2) ミシン縫いの基礎とアウターパンツの製作</li> </ol> <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 洋服の製作 (実習3) シャツ・ブラウスの製作</li> <li>4 和服の製作 (実習4) じんべいの製作</li> </ol> <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 和服の製作 (実習4) じんべいの製作</li> </ol>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の構成、被服材料について学習し、実習を通して手縫いの基本的な縫い方を身に付け、被服製作技術検定4級の合格を目指す。</li> <li>・ミシン縫いと洋服の製作の基礎を学び、アウターパンツの製作を行う。被服製作技術検定3級の合格を目指す。</li> <li>・シャツ・ブラウスの製作を行う。被服製作技術検定2級（洋服）の合格を目指す。</li> <li>・和服の製作の基礎を学び、じんべいの製作を行う。被服製作技術検定2級（和服）の合格を目指す。</li> </ul>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服製作やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>		
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業や実習への取組、実習作品、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 和服や洋服など、衣服について興味を持つようにしましょう。</li> <li>2 被服製作に必要な道具をそろえて使えるようにしておきましょう。</li> <li>3 基礎的な技術の確かな定着を目指し、毎回の授業を大切に、地道で丁寧な実習と完成させる強い意志を持って取り組みましょう。</li> </ol>				
教材費	実習費 7,000円（検定料など）、別途布代などの材料費				
その他	被服製作技術検定4、3、2級（和服・洋服）の合格を目指します。				

# 令和6年度 シラバス

教科名	家庭	科目名	ファッション造形（3年次）	単位数	4
授業形態	被服製作実習及び講義				
選んでほしい生徒	服飾関係への進学・就職を考えている人や、被服製作に関して興味・関心があり、知識や技術を身に付けたいと思っている人。ファッション造形基礎を履修している生徒が望ましい。				
科目の目標	高度な被服の構成、デザインや着用目的に適した被服材料などに関する知識と技術を習得し、ファッション製品を創造的に製作する能力と態度を身に付ける。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>デザインや着用目的に応じたファッション造形についての体系的・系統的な理解と、関連する技術。</li> <li>ファッション造形に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力。</li> <li>衣生活の充実向上と創造性豊かな作品の製作を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度。</li> </ol>				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】 和服の製作 （実習1）ひとえ長着の製作</p> <p>【2学期】 洋服の製作 （実習2）ジャケットの製作</p> <p>【3学期】 （実習2）ジャケットの製作 ・着装</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>和服製作に関する基礎的な知識を身に付け、和服を製作し、被服製作技術検定（和服）1級の取得を目指す。</li> <li>裏付きジャケットの製作を行い、被服製作技術検定（洋服）1級の取得を目指す。</li> <li>着用目的と場所にふさわしい着装ができるようになる。</li> </ul>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>デザインや着用目的に応じたファッション造形について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファッション造形に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣生活の充実向上と創造性豊かな作品の製作を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>		
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業や実習への取組、実習作品、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>和服や洋服など、衣服について興味を持つようにしましょう。</li> <li>被服製作に必要な道具をそろえて、使えるようにしておきましょう。</li> <li>ファッション造形基礎に続いて選択する科目のため、製作の内容が高度になります。根気強く製作し、完成させる強い意志と意欲を持って取り組みましょう。</li> </ol>				
教材費	実習費 5,000円（検定料など）、別途布代などの材料費				
その他	被服製作技術検定1級（和服・洋服）の合格を目指します。				

# 令和6年度 シラバス

教科名	家庭	科目名	服飾手芸（3年次）	単位数	3
授業形態	実習（編物や刺しゅうなど作品の製作）及び講義				
選んでほしい生徒	手芸に興味・関心があり、根気強く実習を続けることができる人。				
科目の目標	実習を通して手芸の種類と特徴及び変遷に関する知識と技術を習得し、手芸品を創造的に製作し、感性豊かな服飾作品へ活用することができる能力と態度を身に付ける。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについての体系的・系統的な理解と、関連する技術。</li> <li>2 手芸の美的価値及び製作過程に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力。</li> <li>3 手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度。</li> </ol>				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸の種類と変遷について</li> <li>・刺し子、刺しゅうの基礎</li> </ul> <p>【2学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・染色の基礎</li> <li>・編物の基礎（かぎ針編み）</li> <li>・パッチワークの基礎</li> </ul> <p>【3学期】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パッチワーク作品製作</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の手芸について、その種類や歴史について学習する。</li> <li>・刺し子、刺しゅうの基礎的なステッチを身に付ける。</li> <li>・簡単に染められる染料を使った染色実習をする。</li> <li>・編物の基礎を身に付ける。</li> <li>・パッチワークの基礎を身に付け、作品を製作する。</li> </ul>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについての体系的・系統的な理解と、関連する技術を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸の美的価値及び製作過程に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手芸品の製作を目指して自ら学び、創造的な製作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</li> </ul>		
上記の観点を踏まえ、定期考査、授業や実習への取組、実習作品、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本を身に付けることがよい作品づくりにつながります。そのためには、繰り返し練習することが大切です。</li> <li>2 日頃から、様々な手芸品に興味を持ち、作品製作に活用できる力を養っておきましょう。</li> <li>3 丁寧に根気強く作品を作るよう心掛けましょう。</li> <li>4 安全に十分留意しましょう。</li> </ol>				
教材費	教材費 4,000円				
その他	特記事項なし				

# 令和6年度 シラバス

教科名	家庭	科目名	フードデザイン (2年次)	単位数	4
授業形態	講義形式 + 実習				
選んでほしい生徒	食生活に興味を持っている人、また、将来、食に関する職業に就きたいと考えている人で専門的な知識や技術を学習したいと思っている生徒。 検定合格を目指して、一生懸命に取り組める生徒。				
科目の目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を身に付ける。</li> <li>2 食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を身に付ける。</li> <li>3 食物調理技術検定の4級・3級を取得する。</li> </ol>				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食生活と健康</li> <li>2 栄養素のはたらきと食事計画</li> <li>3 食物調理技術検定4級</li> </ol> <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 食品の特徴・表示・安全</li> </ol> <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 調理の基本</li> <li>6 料理様式とテーブルコーディネート</li> <li>7 食育</li> </ol> <p>【年間】調理実習</p>		健康と食生活、フードデザインの構成要素、フードデザイン実習、食育と食育推進活動などについて学び、これらをとおして、食に関する基礎的な知識と技術を家庭基礎で学習した内容をふまえながらさらに深めていく。		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けている。	・食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインと食育の推進に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。		
上記の観点を踏まえ、定期考査、実習、提出物、課題、授業態度、検定を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業を大切にす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ姿勢。</li> <li>・提出物の徹底。</li> </ul> </li> <li>2 基礎的技術を習得する意欲を持って調理実習に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備物の徹底(エプロン、三角巾)</li> <li>・調理器具の正しい扱い方を身に付ける。</li> <li>・分量の正しい計測を行う。</li> <li>・安全に留意する。</li> <li>・検定合格を目指す。</li> </ul> </li> <li>3 学習した内容を、家庭で実践してみる。</li> </ol>				
教材費	実習費 10,000円				
その他	エプロン、三角巾、マスクの準備				

# 令和6年度 シラバス

教科名	家庭	科目名	調理（3年次）	単位数	4
授業形態	講義形式 + 実習				
選んでほしい生徒	調理技術を高めるだけでなく、調理の理論や食事形式などに興味・関心があり、知識・理解を深めたいと思っている人。				
科目の目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して創造的に調理し、健康の保持増進に寄与する食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を身に付ける。				
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。</li> <li>2 食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力。</li> <li>3 調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</li> </ol>				
学習計画	単元・教材		学習のあらまし		
	<p>○講義</p> <p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 食の文化</li> <li>2 調理の基本</li> <li>3 技術検定2級</li> </ol> <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 調理の種類と献立               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日常食</li> <li>(2) 日本料理</li> <li>(3) 西洋料理</li> <li>(4) 中国料理</li> <li>(5) 行事食・供応食</li> </ol> </li> <li>5 調理技術検定1級</li> </ol> <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6 大量調理</li> </ol> <p>○調理実習 年間約20回</p>		<p>・調理の目的や調理の種類、基本操作の方法と特徴、代表的な食品の特質などについて学習する。</p> <p>・代表的な料理の特徴と献立構成の基本について学習し、調理実習を通して、目的や条件に応じた調理ができるようにする。また、食事作法についても学び、適切に供することができるようにする。</p> <p>・目的や対象に応じた献立作成について、また集団調理の種類や特徴について学習する。</p>		
評価の観点・評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	・調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けている。	・食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		
上記の観点を踏まえ、定期考査、実習、提出物、課題、授業態度、検定を総合的に判断して評価する。					
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 講義で学習した内容を、実習を通して体験的に学習する形式となるので、授業で学んだことを、実習で積極的に生かしていこう。</li> <li>2 調理実習は、実習態度だけでなく、手順表や調理実習ノートの記入状況、服装なども評価するので、忘れ物のないように、また期日を守って提出しよう。</li> </ol>				
教材費	実習費 10,000円				
その他	エプロン、三角巾、マスクの準備				